



天気にも恵まれスタートをきる

第一回「さわやかあるこうかい」開催

前回、七月一日(日)に開催を計画していましたが、天候不良のため中止し、今回七月二十二日(日)に改めて、第一回「さわやかあるこうかい」を開催しました。

梅雨明けを待たれる日々の中、前日まで不安定なお天気で開催が危ぶまれる予報でしたが、当日は歩くには暑すぎるほどの良いお天気にめぐまれました。

参加者は事務局員を含め十四名でした。

八時三十分に関門トンネル人道口(門司側)に集合して小倉のボランティアさんでもあり、北九州市ウォーキング協会の理事でもある小津和静香さんより準備体操、ストレッチ、歩くときの注意などの指導を受けました。



みんなで記念写真

した。エレベーターで下降していいよトンネルの中へ地上とは温度差がありヒンヤリとしてよい出足でした。

目指して

約七百八十mの海底トンネルの中では、ウォーキングやジョギングをしている方、下関側から門司側へ関門海峡を歩いて渡る団体の観光客の皆さんを多く見かけました。

無事終わって良かったですね!

北九州市ウォーキング協会

理事 小津和 静香さん



ご指導・アドバイスをいただきました
小津和 静香さん

歩いた時間より休憩の時間が多かった様な(笑)

参加している中で感じた

① シューズ



下関側に着きエレベーターで上昇していると、地上の熱気が感じられ、この先の不安が頭をよぎりました。いいよ、対岸にめかり神社を見ながら関門橋の下をくぐり、一路唐戸市場を目指します。

今回「さわやか」事務局ではこのルートは一度経験しているのと、安易な考えがありました。

スピードについて行けず

バテバテな事務局員

参加されたボランティアさんは日頃からウォーキングで鍛えておられる方ばかりで、いち早くバテていたのは、事務局員でした。

なかなかボランティアさんのスピードについていけずにご迷惑をおかけしてしまいました。

九時五十分に全員無事に唐戸市場に到着しました。それから、自由散策の時間として市場の中を見て歩く方、関門の海を見に行かれました。それぞれに楽しめました。事務局員は小津和さんに



は手ぶらにして手を振って、バランス良く歩く。

短距離、短時間でもウォーキングを目的とするのであれば最低限揃えたいものです。

今度は一〇キロ位にチャレンジしましょうね。ありがとうございます。

事務局より

お盆休みの

お知らせ

8月13日(月)から

8月16日(木)まで

事務局は

お休みします。

歩く時などの熱中症対策などについてのアドバイスをいただきました。

(本当はきつくて動けませんでした)

十一時から少し早い昼食をとり、全員で記念写真を撮り予定より早めに帰路につきました。

帰りは空もうす曇りとなり心地よい風もふいて、楽しく歩きました。

次回開催?を

約束して

人道口(門司側)に全員無事に到着し最後におたのしみ抽選会をし、それぞれに景品と唐戸市場のおみやげを手にして再来を約束して十二時二十分に解散しました。

今回の歩行距離は約六kmで歩数は約九千歩弱でした。

障害のある方に支障がないように

準備している段階

七月十二日（木）十八時三十分よりウエルとばた八階八十一・八十二会議室で「九州電力の計画停電説明会及び周知のための市との意見交換会」が北九州市障害福祉団体連絡協議会（以下「障団連」）の主催で行われました。

北九州市から障害福祉課より早崎寿宏課長と渡辺和彦係長がおみえになり、九州電力からは北九州支社企画総務部地域共生グループ課長の小笠原猛氏とグループ長の近藤春二氏が、来られました。

その他障団連加盟団体の代表の方や手話通訳の方などを含め総勢五十名ほどが参加しました。

「さわやか」からは山田と梶原が出席しました。

事務局長の古賀由美子氏の司会で始まり、九州電力の近藤さんから計画停電に関する基本的な考え方やお客様へのお知らせ方法、計画停電時の準備・注意事項



などDVDを併用して説明がありました。

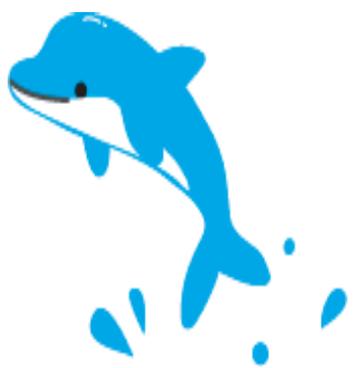
詳しいことは九州電力のホームページに掲載しています。

地域との信頼関係が出来ていく

北九州市障害福祉団体連絡協議会
第15回定期総会に参加

六月十六日（土）午前九時三十分から、ウエルとばた六階六A・B会議室で北九州市障害福祉団体連絡協議会（以下「障団連」）の第十五回定期総会が行われ、「さわやか」から四名が参加しました。

初めに中島事務局次長から開会宣言があり、北原守会長より「地域作りに我々がしっかりと関わり、地域の皆さんと協力し、貢献していく中で地域との信頼関係が出来ていくと思います」と挨拶がありました。



きめ細かな対応を出来るようにしていきたい

早崎課長より「計画停電が無いことが原則ですが万

が一あった場合には障害のある方に支障がないように市では準備をしている段階ですが、皆様からの意見をもち帰りきめ細かな対応が出来るようにしていきたいと思っておりますので貴重な意見をお願いします」と挨拶がありました。

次に各障害者の方々の計画停電時対策について今現在の市の取組みを渡辺係長より説明がありました。

ある障害者の方から「電動ベッドや電動車いすなど



算報告、会計監査報告、役員改選があり、満場一致をもって承認されました。

尚、山田理事長は引き続き監事として再任されました。次に平成二十四年度事業計画及び収支予算の報告があり、満場一致をもって承認されました。

また、公務の合間に駆けつけてくださった、北九州市の北橋健治市長より障団連の日頃からの活躍に対して感謝とお礼を述べられました。総会は十一時四十分を終了しました。

の日常生活用具を使用しているが、長年使用している日常生活に影響がでるので、メーカーがすでになくなったりしているところもあります。

相談窓口を

開設してほしい

障害者にとっては先が読めない、出来ないと言うことはとても不安ことです。

万が一不安なことが起きた時など、ひとりでも安心して過ごせるように、問い合わせが出来るような相談窓口を市の方に開設していただけないか」との要望があり、市のほうでも検討してみますとの回答がありました。

解決しなくてはいけない

問題が多くある

今回はいろいろな障害を持つた方が参加されていてどのようでしたら、いち早く計画停電を全ての障害者の方に知らせることが出来るのか、いろいろ討議がありました。まだ解決しなくてはいけない問題が多くあることに気づかされた意見交換会でした。

二十時三十分閉会となりました。